北海道

道立羽幌病院の概要

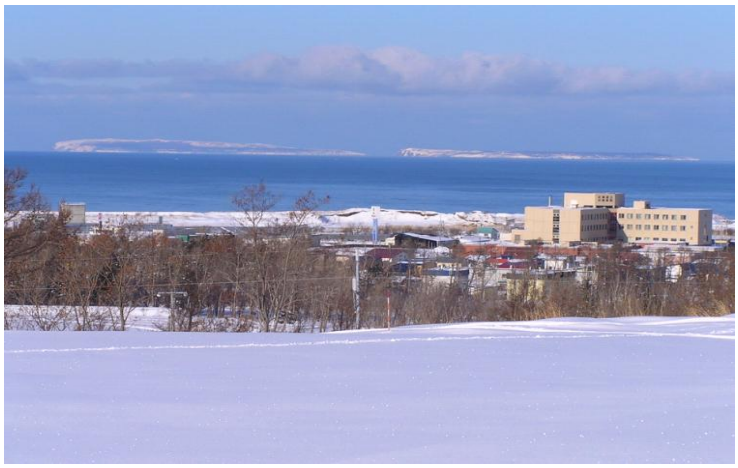
１【病院の沿革】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２【病院概要】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
３【病院の理念等】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
４【病院の組織機構等】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
５【病院の特徴等】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
６【病院の運営方針】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
７【これからの病院運営方針】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

令　和　８　年　４　月

北　海　道　立　羽　幌　病　院

道　立　羽　幌　病　院　の　概　要

　羽幌町は日本海に面した農業と漁業を中心とした町で、札幌から車で約３時間の距離に位置します。
天売島の「海鳥繁殖地」、焼尻島の「焼尻自然林」は天然記念物に指定されており、夏季には多くの観光客で賑わう観光の町でもあります。
　道立羽幌病院は羽幌町を中心とした周辺町村の医療を担う地域センター病院として、地域に根ざした信頼ある医療の提供を心がけています。



（天売・焼尻島と道立羽幌病院を望む）

１【病院の沿革】

（１）道 立 羽 幌 病 院 の あ ゆ み

昭和 25 年 ５月　羽幌町戸田医院を買収し、羽幌町立国民健康保険病院として開設

昭和 28 年 ８月　羽幌町から北海道に移管され、北海道立羽幌病院を開設

診療科目　内科・外科・小児科・産婦人科　　病床数 48 床

昭和 50 年 12 月　旧病院より移転開設　診療開始

診療科目　内科・外科・産婦人科・整形外科　病床数=106 床（一般 88 床、結核 18 床）

地域センター病院として承認

平成 ２年 12 月　人工透析装置６台導入　人工透析開始（平成５年 10 月１台増設）

平成 13 年 ６月　(財)日本医療機能評価機構から「認定証」受理（認定番号 137 号：一般病院種別Ａ）

平成 17 年 ７月　旧病院より移転開設　　診療開始

診療科目=内科・外科・小児科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・整形外科・皮膚科
泌尿器科・精神科・リハビリテーション科

病床数　　一般 120 床 （開放型４床、救急２床含）

人工透析装置 10 台導入（多人数用透析装置）

ＭＲＩ、マンモグラフィ、多目的Ｘ線ＴＶ装置導入

（２）移 転 改 築 後 の 主 な 出 来 事

平成 18 年

４月　１日　道立羽幌病院地域保健医療連携室創設
４月 20 日　院外報「春夏秋冬」創刊号発行
７月　１日　禁煙外来診療の開始

平成 19 年

４月　１日　常勤医師 10 名から３名減員され７名となる
６月　１日　臨床研修協力型病院指定

７月１７日　人工透析ベッド２台増床し 13 台となる
９月　１日　産婦人科医長転出し常勤医師６名となる
10 月４日　救急隊員等指示等に関する協定書

平成 20 年
２月 26 日　助産師外来（ミルキー外来）開設
４月　１日　医師１名が増員され常勤医師７名となる
９月　１日　亜急性期入院医療管理料算定病床の導入　12 床
１０月７日　婦人科外来再開（毎週火曜日）

平成 21 年
４月　１日　病床数　　一般稼働 80 床、未稼働 40 床とする
　　亜急性期入院医療管理料算定病床 ８床へ変更
５月　１日　理学療法士の退職により亜急性期入院医療管理料算定病床取り下げ
７月　１日　病床数　　一般稼働 60 床、未稼働 60 床とし、３階病棟へ看護体制再編、４階病棟休止
９月　１日　理学療法士が配置され亜急性期入院医療管理料算定病床６床で再開

平成 22 年
４月　１日　副院長２名が転出し常勤医師５名となる
　　道の広域遠隔医療普及推進事業により脳卒中・神経内科の診療支援システムを導入
１０月１日　１名退職し常勤医師４名となる

平成 23 年
１月　１日　副院長１名採用され常勤医師５名となる
３月 24 日　羽幌町内の民間団体等による地域医療を守る会「折り鶴」の設立
５月　１日　病床数　　一般稼働 45 床、未稼働 75 床とする
　　亜急性期入院医療管理料算定病床 10 床へ変更
６月 30 日　副院長１名退職し常勤医師４名体制となる

平成 24 年
５月　１日　医師１名が採用となり常勤医師５名体制となる
６月　１日　簡易血糖値検診「プチっと検診」開始
10 月 31 日　KKR 札幌医療センター斗南病院との連携による大腸検査「CT コロノグラフィ検査」開始
11 月 20 日　訪問診療開始

平成 25 年
５月　１日　医師１名が採用となり常勤医師６名体制となる
10 月 24 日　内科医師による健康出前講座の開始
11 月５日　無医地区等での巡回診療開始（羽幌町内２ヶ所、苫前町内４ヶ所）

平成 26 年
１月　１日　内科医１名退職により常勤医５名体制となる
３月１６日　小中学生を対象にキッズセミナーを実施
４月　１日　小児科医１名採用、内科医１名増により常勤医７名体制となる
　　医師事務作業補助者１名の配置（職員派遣）
８月　１日　レスパイト入院（介護者支援短期入院）開始
10 月１日　副院長として内科医が１名増となり常勤医８名体制となる。
　　※副院長は焼尻診療所長を兼務（12 月１日付けで兼務解除）
10 月１日　亜急性期入院医療管理料の廃止に伴う病床数の変更(一般 35 床、亜急性 10 床→一般 45 床)
12 月１日　午後診療の再開（月・金曜日のみ）

平成 27 年
４月　１日　院長（副院長から）、医療参事（院長から）、副院長、常勤医５名の計８名体制となる

４月　１日　保健医療連携室に医療連携専門員２名を配置
６月　１日　泌尿器科　第１・３週（木）を毎週（木）へ
７月　１日　午後診療の拡大（水曜日を追加、月・水・金へ）
１０月１日　ＭＲＩ機器更新 運用開始
１２月１日　画像診断装置（ＰＡＣＳ）更新運用開始

平成２８年
２月２９日　オーダリングシステム運用開始
６月１３日　地域包括ケア病床（１２床）運用開始
１０月１日　副院長退職により、常勤医７名体制となる

平成２９年
３月２１日　人工透析装置１３台更新 運用開始
４月　１日　地方公営企業法の全部適用　病院事業管理者設置
４月　１日　院長が兼務、医療参事が退職により、常勤医６名、兼務医１名体制となる
４月　１日　総合診療開始
１０月１日　総合診療専門研修プログラム公表（基幹施設）

平成３０年
４月　１日　院長が常勤となり、常勤医７名体制となる
７月　１日　地域包括ケア病床１５床へ変更（３床増）
９月　１日　皮膚科　毎週月曜日を金曜日へ
１０月１日　骨密度測定装置更新
１１月１日　フレイル外来開始

平成３１年（令和元年）
３月２９日　調剤システム更新
４月　１日　総合診療専攻医１名増により、常勤医８名体制となる
４月　１日　医師事務作業補助者１名増員（職員派遣）
４月　１日　胃がんリスク検診開始
５月 19 日　（一社）北海道総合在宅ケア事業団羽幌地域訪問看護ステーション入居
６月３０日　総合診療医１名退職により、常勤医７名体制となる

令和２年
３月　１日　デジタルラジオグラフィ更新
４月　１日　総合診療専攻医３名採用、転入１名、転出１名、退職１名により常勤医９名となる
４月　１日　日本プライマリ・ケア連合学会　新・家庭医療専門研修プログラム認定
８月２８日　人工呼吸器（２台）増設

令和３年
４月　１日　常勤医師８名（総合診療医：転入２名、転出２名、退職１名）となる

令和４年
２月１７日　ＣＴ機器更新、運用開始
４月　１日　常勤医師５名（総合診療医：転入２名、転出５名）となる
４月　１日　日本病院総合診療医学会　病院総合診療専門研修プログラム認定
４月　１日　午後診療の変更（月・火・木→火・木）
９月３０日　常勤医師４名（総合診療医：転出１名）となる

令和５年
３月　９日　Ｊｏｉｎ（医療関係者間コミュニケーションアプリ）導入
４月　１日　常勤医師７名（総合診療医：転入３名）となる
５月２２日　「ＨＡＢＯＲＯプロジェクト」始動

7月31日　常勤医師6名（総合診療医：転出1名）となる
10月30日　常勤医師5名（総合診療医：転出1名）となる

令和6年
3月　1日　日本地域医療学会　地域総合診療専門医専門研修プログラム認定
4月　1日　常勤医師8名（総合診療医：転入4名、転出1名）となる

令和7年
4月　1日　常勤医師7名（総合診療医：転出1名）となる

令和8年
1月19日　電子カルテ運用開始
4月　1日　常勤医師4名（総合診療医：転入2名、転出5名）となる

2【病院概要】

（1）施 設 概 要

□　名　　称　　北海道立羽幌病院

□　所 在 地　〒078-4197 北海道苫前郡羽幌町栄町110番地
TEL (0164)62-6060 ／ FAX (0164)62-6050

□　開設許可年月日　　昭和28年8月28日

□　開 設 者　　北海道病院事業管理者　井　上　聡　己

□　管 理 者　　院長　阿　部　昌　彦

□　敷地面積　　20,246.16㎡（鉄筋コンクリート造　地上4階建て　延床面積8,592.21㎡）

□　病 床 数　　91床（稼働病床45床【地域包括ケア病床15床、一般30床】、未稼働病床46床）

□　診療科科目
内科、外科、小児科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、精神科、
リハビリテーション科

□　指定医療
健康保険、国民健康保険、結核予防法、原爆医療、労働災害、自立支援医療、救急医療告示、
生活保護法、指定難病、小児慢性特定疾患

□　受付時間
○　一般外来受付時間　　8:00から(予約のある方は予約時間まで)
○　救急医療受付時間　　全日（365日）24時間体制

（2）承 認 基 準

届出事項

	入院料　　急性期一般入院料4
施設基準	(1)　基本診療料 一般病院入院基本料（急性期一般入院料4）、臨床研修病院入院診療加算（協力型）、救急医療管理加算、療録管理体制加算3、医師事務作業補助体制加算1（25対1）、 療養環境加算、重症者等療養環境特別加算（1床）、医療安全対策加算2、感染対策向上加算2、 医療安全対策地域連携加算2、患者サポート体制充実加算、地域支援・医薬品供給対応体制加算1、 急性期看護補助体制加算（25対1（看護補助者5割未満））、入退院支援加算1、地域包括ケア入院医療管理料1、データ提出加算2、認知症ケア加算3、看護職員配置加算、せん妄ハイリスク患者ケア加算、協力対象施設入所者入院加算、小児科外来診療料、連携強化加算、サーベイランス強化加算、抗菌薬適正使用加算、病棟薬剤業務実施加算1・2、身体拘束最小化推進体制加算、院内トリアージ実施体制加算、心不全再入院予防継続管理料3、電子的診療情報連携体制整備加算2（入院基本料等加算）・（初・再診料）、看護職員処遇改善評価料、外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)、入院ベースアップ評価料、情報通信機器を用いた診療に係る基準

施設基準	(2)　特掲診療料 糖尿病合併症管理料、救急外来医学管理料３、がん性疼痛緩和指導管理料、院内トリアージ実施体制加算、小児科外来診療料、ニコチン依存症管理料、ハイリスク妊産婦共同管理料、がん治療連携指導料、医療機器安全管理料、糖尿病透析予防指導管理料、在宅時医学総合管理料、特定施設入居時等医学総合管理料、検体検査管理加算１・２、時間内歩行試験・シャトルウォーキングテスト、CT 撮影及び MRI 撮影加算、大腸 CT 撮影加算、遠隔画像によるコンピューター画像診断（画像診断管理加算２）、外来化学療法加算２、 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅲ、運動器リハビリテーション料Ⅲ、 廃用性リハビリテーション料Ⅲ、人工腎臓（慢性維持透析を行った場合１）、 透析液水質確保加算、慢性維持透析濾過加算、導入期加算１、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、酸素加算、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、手術通則 16 に掲げる手術、輸血管理料Ⅱ、 呼吸器リハビリテーションⅡ、二次性骨折予防継続管理料２・３、外来腫瘍化学療法診療料２、慢性腎臓病透析予防指導管理料 (3)　その他 入院時食事療養費（Ⅰ）、入院時生活療養（Ⅰ）

（３）診 療 体 制

○外来診療体制

	月		火		水		木		金		応援医師等	受付時間等
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
内　　科	○	－	○	○	○	－	○	○	○	－	当院常勤医師	8:00～11：00 13:30～15：00 ★は完全予約制
循環器内科	－	－	－	－	★	－	－	－	－	－	留萌市立病院　高橋院長 第４水曜	
総合診療科	－	－	－	－	－	－	★	－	－	－	砂川市立病院　木村院長 最終木曜	
呼吸器内科	－	－	－	－	－	－	○	★	－	－	第１・３木曜　重原医師（休診中）	
禁煙外来	－	－	－	－	－	－	－	★	－	－	重原医師（休診中）	
内科・外科・整形外科（総合診療医）	○	－	○	○	○	－	○	○	○	－	当院総合診療医、非常勤医	8:00～11：00 13:30～15：00
整形外科 （専門）	★	－	－	★	－	○	○	－	★	－	第 1 月曜：引野医師／水～木曜：穴口医師／第 2, 4 火曜：渡部医師／第 2, 4 月曜：覺田医師	完全予約制 金曜：八島医師
小 児 科	○	○	－	－	－	－	－	－	○	－	月２回月曜（診療）、月２回水曜（予防接種）井上医師／月１回木曜（乳幼児健診）、金曜（診療）髙橋医師／金曜（診療）当院常勤医師（髙橋医師診療日以外）	8:00～11:00 13:30～15:00
婦 人 科	－	－	○	○	－	－	－	－	－	－	金野医師	8:00～11:00 13:30～15:00
眼　　科	－	－	★	★	－	－	－	－	－	－	旭川医大 毎週火	完全予約制
皮 膚 科	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	札幌医大	予約不要
耳鼻咽喉科	－	－	－	－	○	－	－	－	－	－	第１・３・５水　札幌医大	完全予約制
泌尿器科	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	札幌医大	8:00～10:30

※　○は初診と予約、★は予約のみ　（外科・整形外科の午前は、緊急性のある方のみ）

◇当院医師の体制

診　療　科	役　職	氏　　名	ふ　り　が　な	備　　考
内科･外科･整形外科 （総合診療医）	院　長	阿部　昌彦	あべ　まさひこ	昭和 58 年　自治医大卒
内科･外科･整形外科 （総合診療医）	医　長	佐藤　次生	さとう　つぐみ	平成 20 年　弘前大卒
内科･外科･整形外科 （総合診療医）	医　長	疋田　宗一郎	ひきた　そういちろう	令和2年　自治医大卒
内科･外科･整形外科 （総合診療医）	医　師	藤井　唯斗	ふじい　ゆいと	令和4年　自治医大卒

◇　医師の応援体制（札幌医大･旭川医大･留萌市立などより）

①　常勤医師がいない科

診 療 科	応援状況	派遣元	医師名
眼　科	毎週火曜日	旭川医科大学	
皮 膚 科	毎週金曜日	札幌医科大学	
泌尿器科	毎週木曜日	札幌医科大学	
耳鼻咽喉科	月2～3回第1･3･5水曜日	札幌医科大学	
（専門）整形外科	月1回　第1月曜日	北海道地域医療振興財団	引野医師
（専門）整形外科	月2回　第2･4火曜日	わたべ整形外科医院	渡部院長
（専門）整形外科	毎週水曜日午後～木曜日午前		穴口医師
（専門）整形外科	月2回　第2･4月曜日午後		覺田医師
（専門）整形外科	毎週金曜日、月1回月曜日午前		八島医師
婦 人 科	毎週火曜日		金野医師
小 児 科	月2回月曜日、水曜日		井上医師
小 児 科	月1回木曜日、金曜日		髙橋医師

② 常勤医師がいる科

診　療　科	応援状況	派遣元	医師名
内　　科 （人工透析）	月2回　月・水・金のうち1回 火・木・土のうち1回	旭川赤十字病院 透析センター	小林センター長
外　　科	月2回　金～日曜日《宿日直》		染谷医師
			松野医師
	月1回　外来診療 月2～3回　金～日曜日《宿日直》	札幌医科大学（消化器・総合・乳腺・内分泌外科）	
内　　科	（循環器）第4水曜日	留萌市立病院	高橋院長
	（総合診療）最終木曜日	砂川市立病院	木村院長
	毎週火《外来、宿直》～水曜日《外来》	日本体育大学	奥田医師
	毎週金～日曜日《宿日直》	北海道地域医療振興財団	
	月1回　金～日曜日《病棟当番》	江別訪問診療所	日下院長、富田医師
	週1回　月《宿直》～火曜日《外来》		日下院長、富田医師、田中医師、二川原医師、渡部医師
	月1回　金～日曜日《病棟当番》	昭和大学（小児循環器・成人先天性心疾患センター）	喜瀬准教授、辻医師

（4）診療圏域

４町１村　１４,５１６人　［令和７年１月１日　住民基本台帳］

＊　留萌中部　9,616人（苫前町2,666人　羽幌町5,945人　初山別村1,005人）

＊　留萌北部　4,900人（遠別町2,258人　天塩町2,642人）

三次圏	二次圏	人口	高齢者数	高齢化率	病床数					
					一般	療養	精神	結核	感染症	計
道北	留萌	38,969	15,987	41.0%	316	117	0	0	4	437
	（南部）	24,453	9,899	40.5%	168	117	0	0	4	289
	（中部・北部）	14,516	6,088	41.9%	148	0	0	0	0	148
	上川中部	366,581	130,504	35.6%	4,567	1,458	986	20	9	7,040
	上川北部	55,104	21,371	38.8%	541	350	55	0	4	950
	富良野	37,642	12,957	34.4%	312	41	170	0	4	527
	宗谷	56,538	20,134	35.6%	540	143	70	0	4	757
	道北計	554,834	200,953	36.2%	6,276	2,109	1,281	20	25	9,711
北海道計		5,044,825	1,664,663	33.0%	54,316	17,765	18,767	99	97	91,044

※人口・高齢化率＝R7.1。1 現在　　病床数＝R7.10.1 現在

（5）道立羽幌病院の診療状況（R7年度実績）

① 一日平均外来患者数 ・平日患者数（診療日数242日 9:00～17:30） 143．1人
・時間外患者数（平日の17:30～翌日9:00） 1．1人
・休日患者数（土・日・祝祭日（123日）） 4．8人

② 一日平均入院患者数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24．2人

○年間延入院患者数の年次推移 （単位 人）

年 度	内 科	外 科	産婦人科	小児科	整形外科	計
R1	10,128	45	0	10	1,753	11,936
R2	7,857	49	0	4	1,199	9,109
R3	7,426	61	0	0	2,444	9,931
R4	6,911	93	0	0	1,652	8,656
R5	8,458	37	0	0	1,579	10,074
R6	7,447	7	0	0	836	8,290
R7	7,568	56	0	0	1,224	8,848

（再掲）地域包括ケア病床（15床）の延入院患者数 （単位 人） H28.6.13 運用開始

年 度	内 科	外 科	整形外科	計	備 考
R1	2,738	4	1,033	3,775	
R2	2,356	12	737	3,105	
R3	1,710	30	1,327	3,067	
R4	2,045	63	857	2,965	
R5	2,139	8	926	3,073	
R6	2,147	0	478	2,625	
R7	1,885	26	569	2,480	

○年間延通院患者数の年次推移 （単位 人）

	内科	外科	産婦人科	小児科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚科	泌尿器科	精神科	計
R1	25,330	682	1,079	2,060	7,071	797	1,870	1,995	1,420	1	42,305
R2	24,327	640	960	967	5,959	723	1,712	1,870	1,498	0	38,656
R3	18,605	933	963	970	6,205	670	1,745	1,752	1,412	32	33,287
R4	16,174	437	900	1,101	4,847	643	1,543	1,615	1,318	102	28,680
R5	15,864	446	927	1,083	4,767	674	1,545	1,761	1,468	98	28,633
R6	17,893	439	968	1,027	5,711	751	1,448	1,894	1,351	71	31,553
R7	17,566	476	871	801	5,946	766	1,289	1,795	1,379	59	30,948

○令和7年度救急患者受入状況（単位　人）

		総数	内科	外科	小児科	整形外科	産婦人科	その他
患者数		1,044	696	129	88	104	1	29
(うち救急車)		257	257	26	6	48	0	4
治療状況	入院	204	204	10	1	20	0	1
	処置	416	416	108	86	63	1	27
	他病院搬送	76	76	11	1	21	0	1
	救急車搬入	33	33	7	1	16	0	1

○救急患者受入状況の年次推移（単位　人）

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
休日・時間外患者総数		1,377	1,019	1,079	1,014	913	841	851
再掲	救急車	320	306	321	346	222	205	198
	他院搬送	113	95	83	127	60	54	55
	ドクヘリ	14	6	8	15	1	1	3

3【道立羽幌病院の理念、職業倫理等】

（1）基本理念

○　地域センター病院としての医療機能の充実に努めます。
○　患者さまのための医療サービスの向上に徹します。
○　職員一同、道民の皆様への奉仕の精神を忘れません。

（2）看護理念

○　患者さまの心に寄り添い、“もてる力”を支える看護を提供します。
※“もてる力”とは、充分な観察と判断から導き出された、個々の患者に備わっている力である。

（3）患者さまの権利

○　いかなる時も、だれもが、平等に最善の医療を受けることができます。
○　診断、検査、治療、看護、予測される危険性や今後の見通しなどについて、分かりやすい言葉や方法による十分な説明と情報提供を受けることができます。
○　個人の尊厳とプライバシーが守られます。
○　自己の自由な意志による医療行為の選択あるいは拒否をすることができます。
○　診療情報の開示やセカンド・オピニオンを求めることができます。

（4）道立羽幌病院職員倫理綱領

北海道立羽幌病院は地域の医療を守るために、職員が遵守すべき行動基準を「職業倫理要綱」として、次のとおり定める。

①　病院の使命

職員は患者さまの生命・尊厳・権利を尊重し、思いやりと責任をもって、医療の提供に最善の努力を払わなければならない。

②　研修・教育

職員は、研修に励み、医療に関する諸学の知識と技術の習得に努めるとともに、後進の教育に力を尽さなければならない。

③　医療記録の保管と守秘義務

職員は、患者さまの記録を完備し、これを確実に管理するとともに、患者さまの個人情報は漏洩してはならない。

④　地域社会への協力

職員は、地域住民の方々の疾病予防及び健康増進に努め、他の機関と積極的に協力しなければならない。

⑤　病院の適正な運営

職員は、医療人としての自覚を持ち、病院の管理運営にあたり、業務の効率化・省力化を図り、より良い医療サービスを提供するとともに、医療の質の向上を目指さなければならない。

４【病院組織機構等】

17 ページのとおり

〇院内の会議･委員会等設置状況

会議開催	会　議　・　委　員　会　等
毎　週	(拡大)幹部会議(毎月最終週を除く)、地域包括ケア病床ベッドコントロール会議、看護部門委員会
月 1 回	院内会議、経営推進会議、院内感染防止対策委員会、医療安全管理委員会、安全衛生委員会、診療報酬請求漏れ対策委員会、ICT 院内感染対策チーム、医療安全管理部会、栄養給食委員会、褥瘡対策委員会、栄養支援サポートチーム、サービス向上委員会、地域連携室会議、地域包括ケア病床運営カンファレンス、透析機器委員会、看護師長会議、副看護師長会議、身体的拘束最小化チーム
年 1 回	医療ガス安全管理委員会、臨床検査委員会
年 2 回	医療従事者負担軽減推進委員会、DPC コーディング委員会、医療放射線安全管理委員会、FLS チーム
年 3 回	薬事委員会兼医療器具選考委員会、総合診療専門研修プログラム管理委員会
年 6 回	輸血療法委員会、透析予防診療チーム
必 要 時	医療事故対策委員会、診療会議、診療録管理委員会、機種選考委員会、入札参加者指名選考委員会、院外処方･調剤問題協議会、院内研修委員会、倫理委員会、防火対策委員会

５【病院の特徴】

（1）当 院 の 特 色

①　天売、焼尻（離島）等へ医師、看護師等を派遣し、離島医療を支援しています。

また、天売診療所・焼尻診療所とつないでいる遠隔診療装置を活用し、緊急時における離島診療支援を行っています。

②　圏域の救急医療休日夜間救急告示病院としての役割を担っています。　２の（５）参照

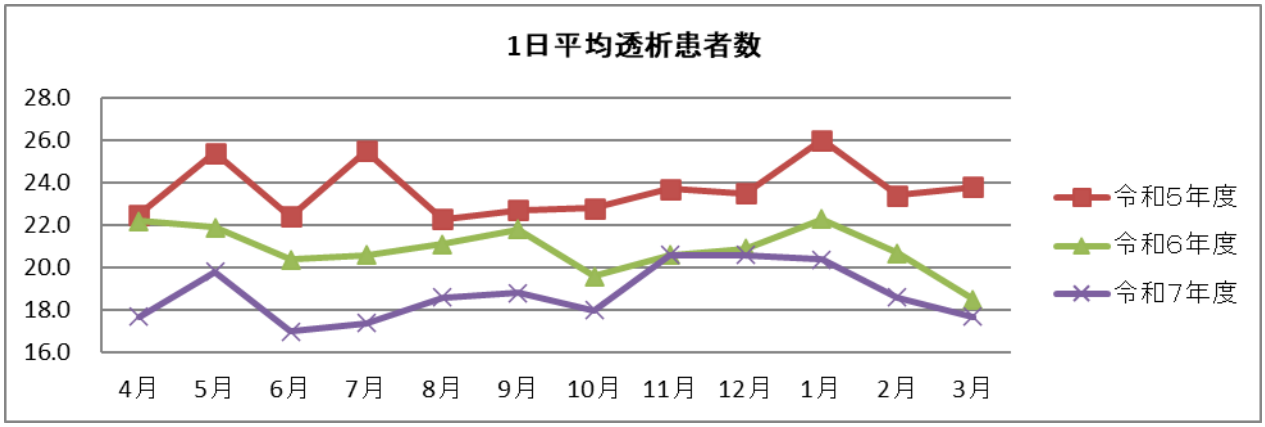
③　交通事情の悪い地域に住む患者に対する巡回診療を行っています。

	地　区	会　　場	実施日	診療時間	R6 延件数
苫前町	九　重	九重コミュニティセンター	偶数月第３木曜日	14:30～	６件
	小　川	小川研修センター	奇数月第３木曜日	15:30	１８件
計					２４件

④　身体的要因から通院が困難な患者のために訪問診療を行っています。

在宅場所	場　　所	登 録 者 数 （R7.3.31 現在）	実 施 日 ・ 診 療 時 間	R6延件数
患 者 宅	羽 幌 町	６名	毎月第１・３月・木曜日 （15:30～17:00）	５５件
	苫 前 町	１名		１３件
グループホーム	はぼ～れ （羽幌町内）	１５名	毎月第３月曜日 （14:00～15:00）	１５３件
	陽だまりの家 （羽幌町内）	１８名	毎月第１木曜日 （14:00～15:00）	２００件
	優　芽 （苫前町古丹別）	２名	毎月第３木曜日 （14:00～15:00）	６０件
	フルールハピネス （羽幌町内）	２７名	毎月第１・３月曜日 （14:00～15:00）	２８４件
計		６９名		７６５件

⑤　留萌中部・北部地域のセンター病院として、多くの患者に人工透析療法を実施しています。（13 床）



（2）施 設 の 特 徴

□　建物外部については、病院を訪れる人を温かく迎え、安心して快適な療養を提供する医療サービス施設として、親しみやすく飽きのこない外観としています。

□　建物の外装材は１階に道庁赤レンガを思わせるレンガ積み、２階より上階はタイルとし、いずれも温かみのある暖色系の茶色をベースとする素材の組み合わせとしています。

□　留萌地域の厳しい気象条件を勘案した外断熱工法、耐久性に配慮した外装材、光庭による自然採光の活用など、室内環境の向上や維持管理コストの低減に配慮しています。

□　建物内部は来院者がわかりやすいように受付、ロビー、外来部門、病棟部門などそれぞれの機能毎に配置しています。

□　施設全体にバリアフリーを考慮して、車椅子用トイレ、点字ブロック、手すりの設置や段差の解消など、身体の不自由な人に配慮しています。

６【病院の運営方針】

（１）病 院 機 能 の 強 化

① 留萌医療圏における中核医療機関として、離島及び地域医療機関との連携や支援体制の整備を図り、医師の派遣、機器の共同利用及び地域の医療技術者を対象とした研修会の開催など、地域医療支援機能の充実に努めています。

平成 18 年４月１日 道立羽幌病院地域保健医療連携室を創設し、平成２９年４月１日からは、地域連携室として、室長１名、副室長１名、医長１名、医療連携専門員２名体制で、さらに平成 31 年４月１日からは副室長１名を増員し、病病連携、病診連携を通じて患者様が安心して治療を行っていただけよう支援を行っています。

○ 令和７年度 医療連携患者紹介等実績

当院から他医療機関への患者紹介	件数	他医療機関から当院への患者紹介	件数
① 留萌市立病院（留萌市）	162	① 留萌市立病院（留萌市）	90
② 旭川赤十字病院（旭川市）	92	② 旭川赤十字病院（旭川市）	54
③ 留萌セントラルクリニック（留萌市）	58	③ 留萌セントラルクリニック（留萌市）	40
④ 旭川医科大学病院（旭川市）	53	④ わたべ整形外科医院（留萌市）	37
⑤ 苫前クリニック（苫前町）	32	⑤ 旭川医科大学病院（旭川市）	22
⑥ 旭川厚生病院（旭川市）	28	⑥ 札幌医科大学付属病院（札幌市）	20
⑦ 市立旭川病院（旭川市）	23	⑦ 旭川厚生病院（旭川市）	19
⑧ 苫前厚生クリニック（苫前町）	21	⑦ 初山別診療所（初山別村）	19
⑨ 留萌記念病院（留萌市）	20	⑨ 苫前厚生クリニック（苫前町）	16
⑩ 初山別診療所（初山別村）	18	⑩ 苫前クリニック（苫前町）	15
⑪ 旭川医療センター（旭川市）	11	⑩ 遠別国民健康保険診療所 （遠別町）	15
⑫ オロロンライン眼科（留萌市）	10	⑫ 旭川医療センター（旭川市）	10
⑬ 遠別町国民健康保険診療所（遠別町）	9	⑫ 札幌厚生病院（札幌市）	10
⑬ 札幌厚生病院（札幌市）	8	⑬ オロロンライン眼科（留萌市）	8
⑮ 斗南病院（札幌市）	7	⑬ 北海道大学付属病院（札幌市）	8
⑮ 深川市立病院（深川市）	7	⑮ 天売診療所（天売島）	7
⑮ リーベクリニック（旭川市）	7	⑮ 深川市立病院（深川市）	7
⑱ 北彩都病院（旭川市）	6	⑮ 市立旭川病院（旭川市）	7
⑱ 西原腎泌尿器科クリニック（留萌市）	6	⑱ 市立札幌病院（札幌市）	6
⑳ 手稲渓仁会病院（札幌市）	5	⑱ 焼尻診療所（焼尻島）	6
⑳ 羽幌歯科（羽幌町）	5	⑳ 西原腎泌尿器科クリニック（留萌市）	4
㉒ 札幌心臓血管クリニック（札幌市）	4	㉑ 荻野病院（留萌市）	3
㉓ 旭川圭泉会病院（札幌市）	3	㉑ 我汝会さっぽろ病院（札幌市）	3
㉓ 砂川市立病院（砂川市）	3	㉑ 札幌心臓血管クリニック（札幌市）	3
㉓ 滝川市立病院（滝川市）	3	㉑ 札幌脊椎外科クリニック（札幌市）	3
㉓ 天塩国保病院（天塩町）	3	㉑ 札幌徳洲会病院（札幌市）	3
㉓ 東ヶ丘病院（深川市）	3	㉑ みなぎこころクリニック（留萌市）	3
㉓ 北海道大学付属病院（札幌市）	3	㉑ 札幌禎心会病院（札幌市）	3

その他	199	その他	84
合　　計（172 医療機関）	809	合　　計（94 医療機関）	525

② 留萌医療圏における二次救急医療機能の充実を図るため、関係機関との調整などを進め、救急告示病院としての役割を担っています。

必要に応じ平成 21 年度就航の道北ドクターヘリによる搬送を実施しています。

平成 24 年 12 月、病院隣接地に羽幌町のヘリポートが完成したことにより、より迅速な患者搬送が可能となっています。

救急医療受入実績及び救急患者受入状況の年次推移は、２（５）参照

③ 医師及び医療技術者については、患者に信頼される良質な医療を提供する観点から、安定的な確保に努めています。

ア 医師については、法令に基づく配置数を確保し診療体制を充実するため、北海道道立病院局が中心となって、職員採用に向けて札幌医科大学や旭川医科大学に対して協力を要請しているほか、自治医科大学の義務年限経過後の医師の採用や道外の医育大学に対する協力要請など行っています。

また、平成 30 年度には総合診療専門研修プログラム、令和２年度には新・家庭医療専門研修プログラム、令和４年度には病院総合診療専門研修プログラム、さらには令和５年度からは地域総合診療専門医専門研修プログラムの認定施設として、地域医療や総合診療、家庭医療を志す医師を受け入れる体制を強化しています。

イ インフォームド・コンセント（治療内容を十分理解し納得した上での治療への同意）の充実を図るため、検査・治療の内容、薬の作用などの診療情報の提供に努めています。

ウ 医療の標準化を図るため、クリニカル・パス(疾患別患者の検査と治療内容を標準化し、スケジュール管理するもの)の推進について検討しています。

エ アンケート調査の実施やご意見箱の設置などにより、患者ニーズを把握し、その結果を踏まえて、サービスの改善に努めています。

オ 医師臨床研修実施病院の協力病院となっており、初期臨床研修２年目の医師の臨床研修を受け入れているほか、医学生、看護学生、栄養学生等の実習を受け入れています。

○令和７年度 医師臨床研修、学生実習等受入状況

区分	医師臨床研修	医学生実習	看護学生実習	救急救命士実習	臨床検査科学生実習	PT 学生実習
実人数	１３名	２７名	５名	３０名	１名	４名
延日数	278 日	１８４日	１日	４６日	３日	９１日
施設数	７病院	２大学	１大学	１組合	１大学	１大学

④ 患者待ち時間の短縮

患者の待ち時間を短縮するため、再診予約制や院外処方せん発行の拡大等を図っています。

⑤ 喜ばれる食事の提供

入院患者への食事療法にきめ細かく対応することはもとより、嗜好調査や適時・適温給食の実施、選択メニューの拡大など、患者から喜ばれる食事の提供に努めています。

（2）地 域 の 保 健・予 防 活 動 へ の 支 援

① 病院内での検診や予防接種などを拡大し、地域における保健・予防活動、福祉事業への支援に努めています。

○道立羽幌病院地域各種業務、委員会等連携・協力状況

業務・委員会等の項目	依頼、要請機関	派遣職種	回数／年
老人施設等医師業務	町村役場	医長、医師	48回
介護、障害認定業務	町村役場	院長、医長	24回
乳幼児健診等業務	町役場	医師	
羽幌町介護保険事業計画審議会委員（書面）	羽幌町	院長、医長	１回
羽幌町地域包括支援センター運営協議会委員（書面）	羽幌町	院長	１回
羽幌町地域密着型サービス運営協議会委員（書面）	羽幌町	院長	１回
羽幌町はいかい高齢者等ＳＯＳネットワーク（書面）	羽幌町	副総看護師長	１回
羽幌地域訪問看護ステーション運営協議会委員長（書面）	羽幌地域訪問看護ステーション	院長	１回
地域医療構想調整会議	保健所	院長、事務長	
圏域連携推進会議関係	保健所	主幹	
看護協会関係（Web等）	看護協会	総看護師長ほか	６回
防火管理業務（書面）	消防組合	総務課長	１回
羽幌小学校学校医業務	羽幌町	医長、医師	１回
羽幌中学校学校医業務	羽幌町	医長、医師	１回
羽幌高校学校医業務	北海道	医長、医師	12回
羽幌警察署検案嘱託医業務	北海道警察	院長、医師	３回
羽幌藤幼稚園嘱託医業務	学校法人旭川カトリック学園	医師	１回
認定こども園まき嘱託医業務	学校法人泉学園	医師	１回

② 住民に健康管理の大切さ等を理解してもらうため、当院職員（医師、看護師、医療技術職員、事務職員）が住民の集会等に出向く「健康出前講座」を行っています。

③ これからの地域を担う小中学生に、道立羽幌病院が行っている各種検査や模擬治療を体験してもらい、医療に興味をもってもらうとともに病院の重要性を理解してもらうため「キッズセミナー」を開催しました。

◎開催日時　令和７年３月２８日（金）　　13：00～16：００

◎対象者　　羽幌町、苫前町、初山別村の小学４年生から中学１年生　１８名参加

◎内　容　　施設見学、各種体験（医師、看護師、理学療法士等９つのブースに分かれて医療を体験する。）

7【これからの病院運営方針】

（1）病 院 機 能 の 強 化

① 留萌医療圏における中核医療機関として、引き続き、離島等の医療機関との連携や支援体制の整備を図り、医師派遣、機器の共同利用及び地域の医療技術者を対象とした研修会の開催などに取り組むとともに、今後は、院内に配置した訪問看護ステーションなど、地域の関係者とより緊密な連携を図り、地域に密着した医療を提供します。

② 留萌医療圏における二次救急医療機能の充実を図り、地域の医療機関や市町村等との調整を進め、24 時間救急医療に努めます。

③ 医師及び医療技術者については、患者に信頼される良質な医療を提供する観点から、安定的な確保に努めます。

ア 医師については、法令に基づく配置数を確保し診療体制を充実するため、その採用に当たっては、道内三医育大学に対して協力を要請するほか、自治医科大学の義務年限経過後の医師の採用や、道外の医育大学に対する協力要請などに努めます。

なお、医師の確保方策の一つとして、臨床研修の充実に努め、総合診療専門医の拠点化を目指します。

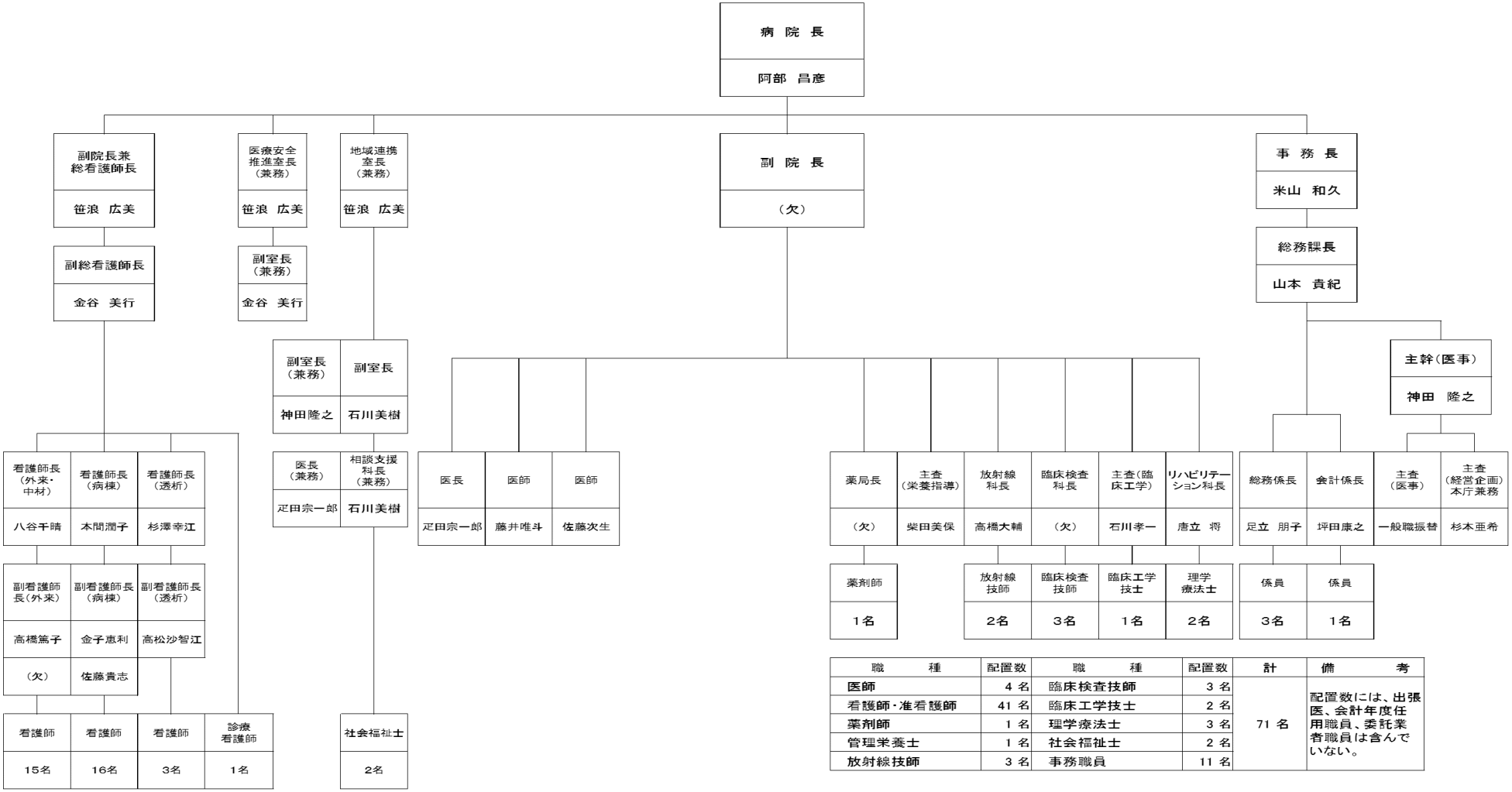
イ 看護師、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師等の医療技術者については、医療の質の向上を図る観点から、必要な人数の配置に努めます。

（2）業 務 の 効 率 化、経 費 の 削 減

施設及び医療機器、備品、物品等の保守管理および整備に努めるとともに、電気代や消耗品等の節約を図り経費の節減に努めます。

【 羽 幌 病 院 組 織 機 構 図 】

令和8年4月1日現在



職種	配置数	職種	配置数	計	備考
医師	4 名	臨床検査技師	3 名	71 名	配置数には、出張医、会計年度任用職員、委託業者職員は含んでいない。
看護師・准看護師	41 名	臨床工学技士	2 名		
薬剤師	1 名	理学療法士	3 名		
管理栄養士	1 名	社会福祉士	2 名		
放射線技師	3 名	事務職員	11 名		

北 海 道 立 羽 幌 病 院

〒078-4197
苫前郡羽幌町栄町 110 番地
TEL:0164－62－6060
FAX:0164－62－6050
（地域連携室FAX:0164－62－3080）